

授業科目名	公衆衛生看護学実習（産業保健）(2300414)		
時間割名	公衆衛生看護学実習（産業保健）(70233)		
時間割担当	芝田ゆかり	三浦康代	吉水清 井上葉子
実施期	前期	単位数	1 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

多種多様な産業現場で働く人々の実際を見学し、労働条件に起因する健康危害の予防、健康に不利な諸条件について考察する。労働衛生の基本となる作業環境管理・作業管理・健康管理の視点から、健康課題に対する産業保健活動と其中で果たす看護職の機能・役割を学ぶ。

学習の到達目標

1. 働く人々それぞれの労働の特徴を知り、労働と健康の調和について理解する。
2. 事業所の組織体制を知るとともに、安全衛生管理体制についてその機能を理解する。
3. 事業所で行われている事業について学び、働く人々の健康課題に対して行われている産業看護職の健康支援の具体を理解する。
4. 事業所で行われている、産業保健の5分野（統括管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、労働衛生教育）の遂行のために、行うべき産業看護職の役割を知る。

授業方法・形式

実習

授業計画

- 1) 実習施設の産業保健年間計画に沿って、実習期間中に計画されている事業に積極的に参加する。
- 2) 産業看護職に同行し、産業看護職の業務の内容、役割を学ぶ。

成績評価の基準

実習態度、実習記録、評価表、取り組む姿勢等を通して総合的に行う。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

- ・実習目的・目標を理解し、実習期間中に達成可能な個人の实習目標をたてる。
- ・学校保健の講義で学習した内容について復習を行う。
- ・実習先の学校の特徴等、情報をホームページやパンフレットを活用し把握する。
- ・実習先の学校の場所や交通手段を各自で調べる。
- ・実習期間中に行われる事業について、あらかじめ情報収集し入手する。

履修上のアドバイス及び留意点

準備学習等「公衆衛生看護学実習 要項」を参照し、実習前に準備学習と演習を必ず実施する。

教材・教科書

産業保健・産業看護論（地域看護学習Guide） 日本看護協会出版会
 国民衛生の動向 2017/2018 厚生労働統計協会 等
 公衆衛生看護学（産業保健）で使用した教材・教科書 等

参考書

適宜、紹介予定